

特集展示のご案内

長崎歴史文化博物館では、特集展示を開催しております。
是非、ご取材・情報掲載の程、宜しく願い申し上げます。

特集展示「長崎奉行所展」

れきぶんの原点は長崎奉行所立山役所にさかのぼります。

延宝元年(1673)、立山の地に新設された長崎奉行所立山役所は江戸時代をとおして長崎の市政、西国一帯のキリシタン取り締まり、貿易統制などの拠点として機能しました。

当館はこの立山役所の跡地に平成17年(2005)11月3日に開館し、建設工事前に実施された発掘調査で見つかった遺構や江戸時代の絵図面をもとに復元・整備された立山役所の一部が館のシンボリックな存在となっています。

本展では発掘調査で発見された出土品を中心に、当館収蔵の関係史料とあわせて、長崎奉行所の姿を振り返ります。

【展示構成】

- 立山役所以前(16世紀末～17世紀初頭)
- 前期立山役所(延宝元年(1678)～享保2年(1717)頃)
- 後期立山役所(享保3年(1718)～)
- 展示数: 約80点(うち長崎県埋蔵文化財センター所蔵65点、諏訪神社所蔵2点)

特集展示：長崎奉行所展

会 期：2021年2月17日(水)～5月16日(日)

※休館日：3月15日(月)、4月19日(月)

会 場：特集展示室(2階常設展示室 歴史文化展示ゾーン内)

時 間：8:30～17:00(最終入館30分前)

観覧料：常設展観覧料でご覧いただけます

大人630円、小中高生310円 ※県内小中学生は無料

《長崎風景眼鏡絵 立山御役所之図》



【にやがさき奉行所たんけんクイズ】

奉行所復元ゾーンの展示を見ながら長崎奉行所に関するクイズに挑戦できるワークシートをご用意しています。

